

平塚警察署
土沢駐在所
☎ 31-0110

つちさわ

令和2年
3月号



進級の時期における 少年非行・犯罪被害防止 と有害環境の浄化

少年非行・被害防止は家庭と地域の絆から！

春休みから新年度にかけて、子供たちは進学や進級、就職といった節目を迎える時期となりますが、これに伴って生活環境も変わる時でもあり、非行により検挙

・補導される少年が増える可能性があるほか、スマートフォン等を買与える時期からも、SNS等の利用

をきっかけとした凶悪事件への発展や児童買春・わいせつ行為等の性犯罪の被害が懸念される時期でもあります。

県警察では、将来を担う子供たちを非行や犯罪被害

から守る活動を推進していますが、この活動をより効果的なものとするためには、警察だけでなく家庭や地域の皆様のご協力が不可欠です。

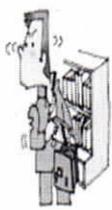
みんなで声を掛け合い、地域ぐるみで少年の非行や

犯罪被害を防止するための活動を推進していきましよう。

◎少年非行・犯罪被害防止について

◎令和元年中の刑法犯少年の概要（令和元年中暫定値）

・刑法犯少年の検挙補導人員は、平成18年以降14年連続で減少しており、昨年は1,506人で前年比344人減少しましたが、約3人に1人が過去に非行を犯したことのある少年でした。



◎少年を特殊詐欺に加担させない！

アルバイト感覚で、安易に詐欺組織に加担し「受け子」と呼ばれる現金やキャッシュカードの受取り役を請け負

い、男子だけでなく女子も検挙される少年の事例が増えています。

◎薬物乱用は「ダメ！ゼッタイ！」

覚せい剤や大麻、麻薬等、少年による薬物事件が後を

絶たず、令和元年中は特に、大麻で検挙された少年が県

内の統計上過去最多になるなど、薬物乱用が大きな社会

問題となつていきます。

◎有害環境の浄化について

◎少年の福祉を害する犯罪被害に遭った少年は432人、うち被害少女は306人です。

◎SNS利用がもたらす危険性

・犯罪者は理解者のふりをして、子供に近づいてきます。実際に会うのは危険です。

・援助交際には大きな危険が伴います。

なかには、暴力団等の犯罪者から脅迫や監禁等の被害

に遭ったケースもあります

・犯罪者に手の込んだ手口を使われると、子供だけでは

手に負えないことがあります。

親・先生・警察にすぐ相談を！



令和2年2月中の 土沢駐在所管内事件

(1月20日～2月20日)

野焼き	1件
火災	1件

当駐在所管内で最近野焼きに対する苦情の通報が増加しています。県の条例では、例外とされているものもありますが、野焼きは原則禁止です。詳細は、平塚市のホームページをご覧ください

特殊詐欺の被害防止

◎『サギ撲滅の2本柱』

①こんな言葉を聞いたらサギだ！

- ・「キャッシュカードを預かります」
- ・「ATMで医療費を還付します」

②留守番電話設定のお願い！

- ・犯人は留守番電話を嫌います
- ・常に留守電話設定を
- ・留守電が作動する前に取らないで



巡回連絡にご協力を

巡回連絡とは、警察官が皆さんの「家庭を訪

問して地域の犯罪や交通事故の発生状況を連絡

し、犯罪の予防や交通事故防止等の地域安全情

報を提供するほか、皆さんからの警察に対する

要望や、意見を伺いして、安全・安心できる

街づくりに反映させる活動です。

その際、巡回連絡カードの作成をお願いします。

このカードは、災害や事件事故に遭遇した時

迷子、傷病人、高齢者を保護した時に活用する

資料として駐在所に保管しています。

すでにカードを作成しているお宅には、記載

内容にお変わりがないか確認していますので

ご協力願います。